



1

どんな鳥がいるかな？

【ねらい】

- 河口や干潟には、いろいろな水鳥がいることに気づかせる。
- 主な水鳥の特徴をとらえさせる。
- 野鳥観察を通して自然の営みを知り、自然への心くばりができるようにする。

【実施の条件】

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ● 対象 / 保育園、幼稚園、小学校低学年 | ● 時間帯 / 昼間 |
| ● 人数 / 10人程度 | ● 場所 / 河口、干潟、海岸 |
| ● 季節 / 冬 | ● 所要時間 / 60分程度 |

【準備するもの】

鳥の図鑑、双眼鏡、カメラ、フィールドスコープ、スケッチ用紙

【すすめ方】

河口や干潟には、どんな水鳥がいるだろうか。水鳥のシルエットや模様をスケッチして特徴をとらえよう。

① 河口や干潟に水鳥がいるか探してみよう。

- どこにいるのかな。
- よく見るといろいろな水鳥がいるぞ。
- どれも同じように見えるけど？

② 双眼鏡でもっとくわしく見てみよう。

- 形やもようをよく見てみよう。
- ちがうもようのもいるぞ。

③ 一番気に入った水鳥をスケッチしてみよう。

- きれいなもようがあるな。
- 頭やしっぽの形がおもしろいな。

④ 一番気に入った水鳥に好きな名前をつけよう。

- 形やもようにあった名前をつけよう。



※ 山口県内の河口周辺で冬によく見かける水鳥

(例: マガモ、ヒドリガモ、カルガモ、キンクロハジロ、ウミアイサ、ユリカモメ、カイツブリ等)

〈バリエーション〉

「水鳥のモデルさんこんにちは」のアクティビティと組み合わせて実施することも可能。

とり どんな鳥がいるかな？

やまぐちけんない かこうしゅうへん ふゆ み みずどり
(山口県内の河口周辺で冬によく見かけることのできる水鳥)

み みずどり
★見つけた水鳥に○をつけてみよう。



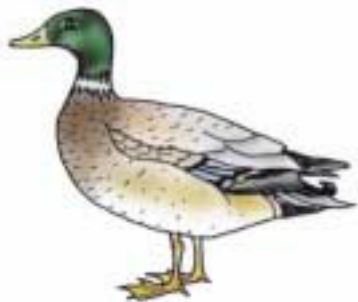
ユリカモメ



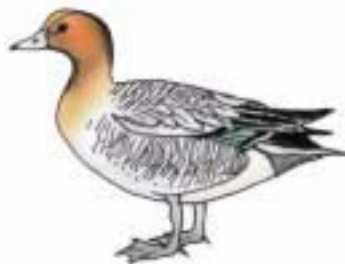
ウミネコ



セグロカモメ



マガモ



ヒドリガモ



キンクロハジロ



オナガガモ



カルガモ



ウミアイサ



カイツブリ

【スケッチカード】

が
月

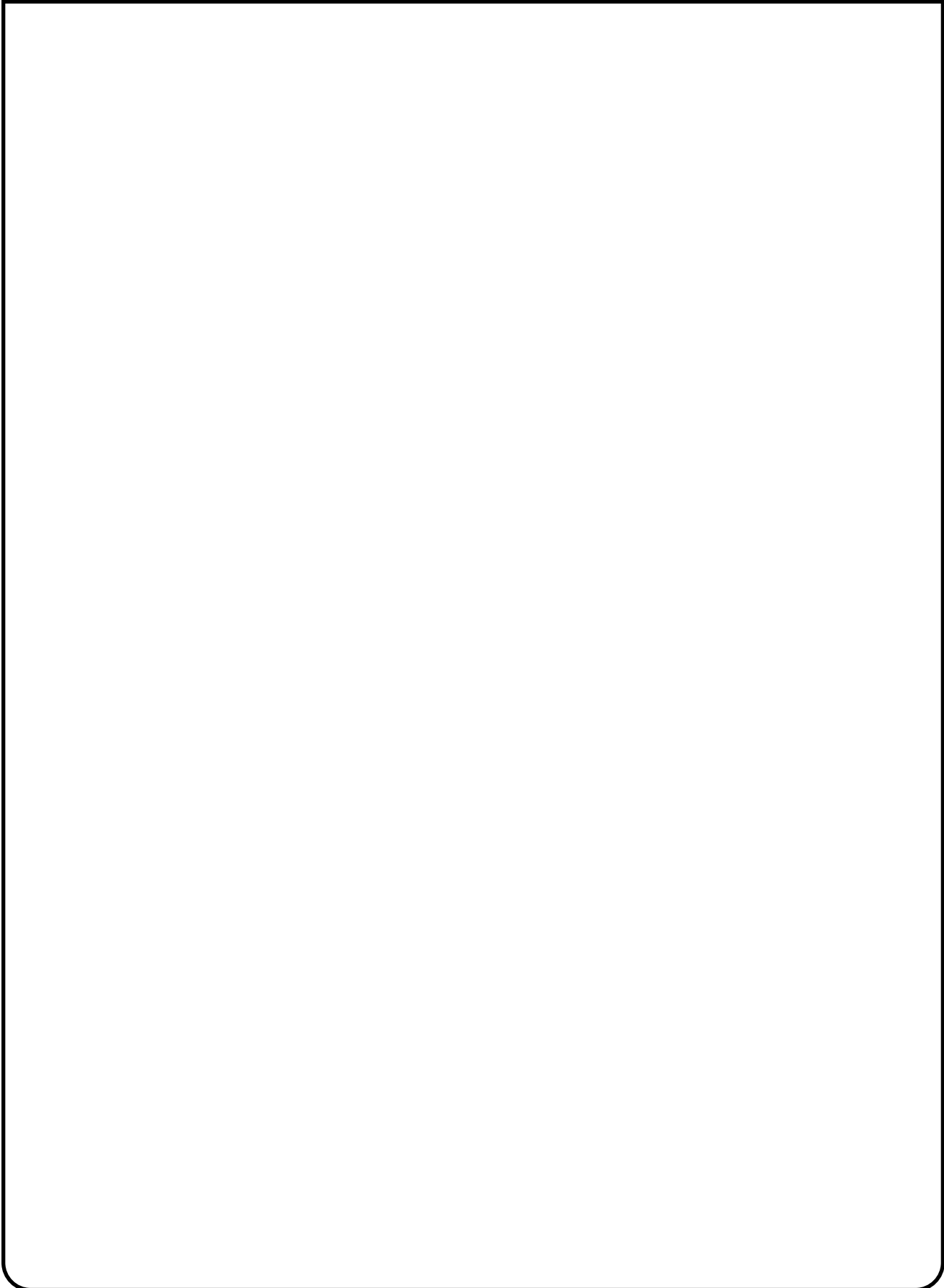
に
日

() ばしょ

()

てんき

()





アクティビティ 2

潜水名人はだれだ!

【ねらい】

- 海岸や河口の水鳥を観察することを通して、水鳥にはえさをとるために潜るものがあることに気づかせる。
- 水鳥が生息する上で、えさとなる魚や植物等、住みやすい環境が必要なことに気づかせる。

【実施の条件】

- | | |
|-----------------|----------------|
| ● 対象 / 小学校低・中学年 | ● 時間帯 / 昼間 |
| ● 人数 / 10人程度 | ● 場所 / 河口、海岸 |
| ● 季節 / 冬 | ● 所要時間 / 60分程度 |

【準備するもの】

筆記用具、なかまわけするための箱、ビニール袋、はっけんカード、ストップウォッチ

【すすめ方】

海岸や河口に住んでいる水鳥で水中に潜っている鳥をさがそう。

① 海岸や河口にはどんな水鳥がいるだろう。

- 何種類かの水鳥がいる。
- 何をしているのかな。
- 休んでいるのかな。食事の時間なのかな。
- 水中にもぐっているのがいる。

② 潜水名人の水鳥をさがそう。

- 何種類かの水鳥がいる。
- 羽根がぬれないのかな。
- えさをさがしているのだろう。

③ 潜水名人を選んで、もぐる様子を描いておこう。

- 上手にもぐるなあ。
- 安心してえさをとることのできる環境を守っていくことが大切だ。



※潜水名人の水鳥：アビの仲間、カイツブリ、ウの仲間、ヒドリガモ、ウミアイサ、スズガモ、キンクロハジロ

せんすい めいじん

潜水名人はだれだ!



- ① ^{かいがん} 海岸や ^{かこう} 河口には ^{みず} どんな水どりがいるだろう。
- ② ^{せんすい} せんすい ^{めいじん} 名人の ^{みず} 水どりをさがそう。
- ③ ^{せんすい} せんすい ^{めいじん} 名人をえらんで、
もぐるようすをスケッチしよう。

【スケッチカード】

が
月

に
日

()

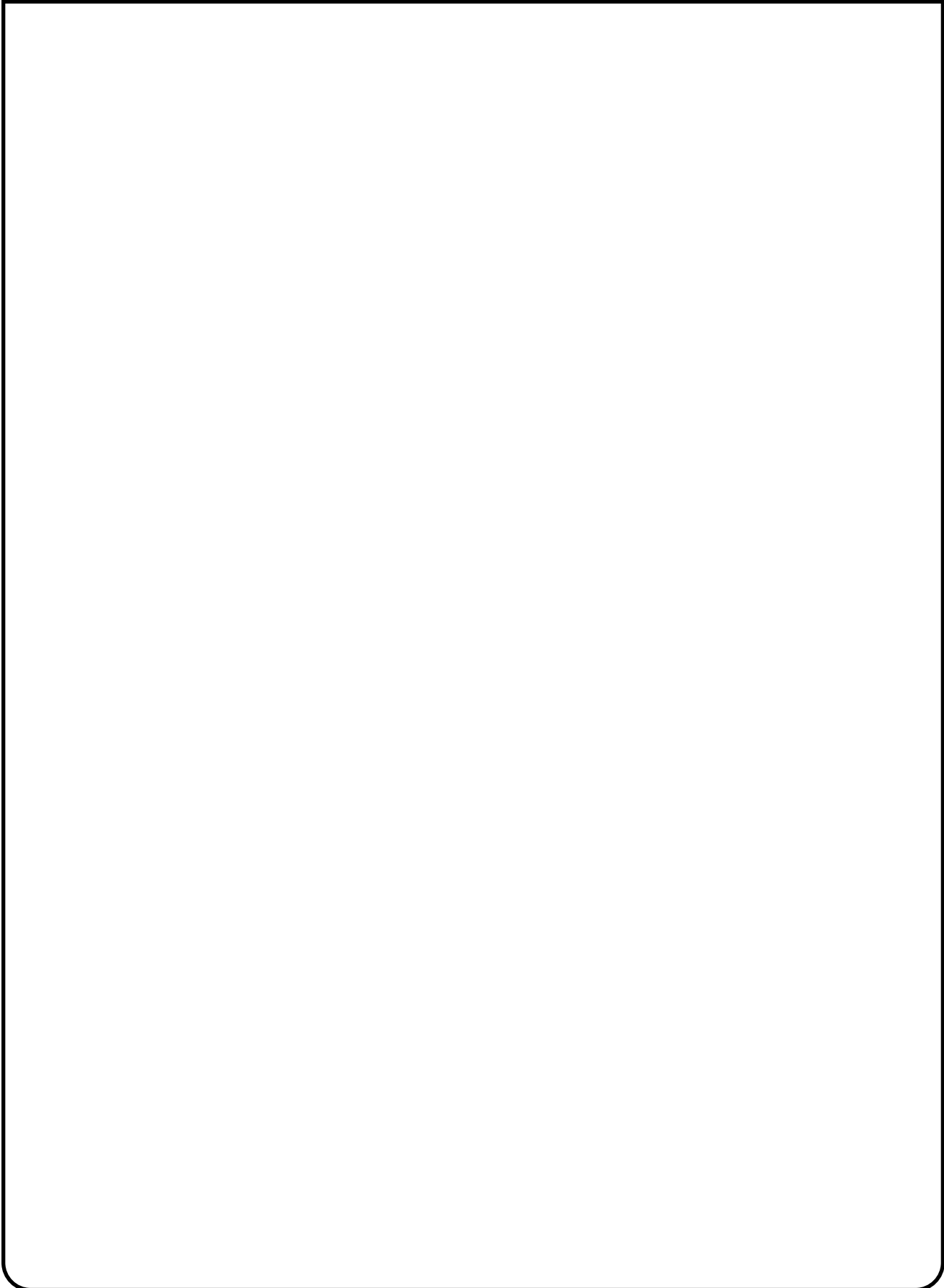
)

ばしょ

()

てんき

()





アクティビティ
3

カモのあそびば

【ねらい】

- 冬の河口や海岸で見かけることのできるいろいろなカモがどんな場所に多くいるか、そのまわりの自然環境をとらえさせる。
- 野鳥とそのまわりの自然を大切に保護する心を育む。
- 生き物と共生することの大切さに気づかせる。

【実施の条件】

- | | |
|----------------------|----------------|
| ●対象 / 保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時間帯 / 昼間 |
| ●人数 / 10人程度 | ●場所 / 河口、干潟、海岸 |
| ●季節 / 冬 | ●所要時間 / 60分程度 |

【準備するもの】

双眼鏡、ぬり絵カード、色鉛筆、カメラ

【すすめ方】

カモがたくさんいる冬の河口・干潟・海岸は、どのような自然環境だろうか。草の高さ、水の色、深さなどを観察してみよう。

① 河口や干潟、海岸を散歩しよう。

- 水鳥がいないか探そう。
- カモがいたぞ。
- 何というカモかな？

② カモがたくさんいる場所を観察してみよう。

- 双眼鏡で観察してみよう。
- どんな草が生えているのかな。
- 水は浅いのかな、深いのかな？

③ カモがたくさんいる場所をカードにかいておこう。

- こんな場所がカモは好きなんだな。
- どんな行動をしているのかな。
- 鳥が生活しやすい自然を守ることが大切だな。



〈バリエーション〉

「私がカモさんのおうちを作るなら、こんなおうちを作る。」など、子どもたちが想像を働かしてかくこともできる。また、その発表会をすることも可能。

カモのあそびば



- ① ^{かこう} ^ひ 河口や干がた、^{かいがん} 海岸をさんぽしよう。
- ② カモのたくさんいる^{ばしょ} 場所を
かんさつしてみよう。
- ③ カモのたくさんいる^{ばしょ} 場所をカードに
かいておこう。

【ぬり絵^えカード】

が^つ月 日^{にち}() ばしょ() てんき()

★カモがたくさんいるばしょのようすをスケッチしてみよう。

★^き気がついたこと